

2024 年度「YOKE 日本語教室～伝え合おう！私のこと 横浜のこと～」
みなとみらい教室・オンライン教室 概要

公益財団法人横浜市国際交流協会 (YOKE)

*新型コロナウイルス感染拡大の状況、その他の事由により、開催状況が変更となる場合があります。

1 名称

「YOKE 日本語教室～伝え合おう！私のこと 横浜のこと～」

- ・みなとみらい教室
- ・オンライン教室

2 趣旨

- (1) 横浜で暮らす方の生活が豊かになるように、暮らしに役立つ日本語を学習する教室です。また、参加者が知り合うことを大切にしています。
- (2) 多文化共生のための日本語学習支援の活動を、地域日本語教室に発信していきます。
地域日本語教室の日本語支援者が YOKE 日本語教室で、教室活動を体験する機会を設けます。

3 概要

(みなとみらい教室)

<期間>全 18 回 (= 1 期) 年 3 期実施 (4 月、9 月、1 月開講予定)

<対象者> 日常生活で日本語が必要な人 / 日本に 3 年以上住む予定の人 / 初級レベル / 年齢 16 歳以上
・ビギナーから、読み書きを勉強したい人・日本に長く住んでいるが日本語を勉強したことがない人なども対象

<定員> 15 人程度

<曜日・時間> 毎週月曜と水曜日 (週 2 回)
10:30~11:45 (75 分)

<会場> 横浜市国際交流協会会議室 (みなとみらい)

<受講料> 1 期 9,000 円

<学習形態> 5 人程度のグループレッスン



(オンライン教室)

<期間>全 18 回 (=1 期) 年 3 期実施 (5 月、9 月、1 月開講予定)

<対象者> 日常生活で日本語が必要な人 / 日本に 3 年以上住む予定の人 / 初級レベル / 年齢 16 歳以上
*ひらがなが読める人・少し日本語が話せる人

<定員> 8 人程度

<曜日・時間> 毎週月曜と水曜日 (週 2 回)
10:00~11:15 (75 分)

<会場> Zoom

<受講料> 9,000 円

<学習形態> 4 人程度のグループレッスン



【 共通事項 】

(次ページ参照)

目標・ねらい

<目標>

生活に必要な日本語を学び、自分のちからを生かしながら、横浜でより豊かな生活が送れること。

- 1 生活に必要なことばや情報を学びます。
- 2 日本語で表現できることを増やします。
- 3 自分のかたちを語り、お互いを知ることが大切です。

人間関係
()

定住者
(社会参加)

地域につなぐ
(多文化共生)

この教室では、横浜で生活をしている皆さんの、暮らしに役立つ日本語を学習します。安心して話せる場を作り、教室に参加する皆さんが知り合うことを大切にしています。(「学習のしおり」から)

学習内容

- 生活する時に必要な言葉を学びます。
*健康・防災・仕事・子育てなど
- 自分の生活、考え、体験などについて伝え合います。
- 季節の行事や日本文化を体験したり、皆さんの文化を紹介したりします。
- 日本語を母語とする人と交流することがあります
(見学者・交流セッションなど)。
(「学習のしおり」より)

YOKE日本語教室 主な特徴 2015年～

小グループでの活動を基本とし、

- トピックベース
- 日本語をたくさん使う場作り
- レベルにこだわらないグループ編成での教室活動を行います。

トピックベース (特徴1)

学習者の「自分が表現したいこと」を意識して、トピックを決めていきます

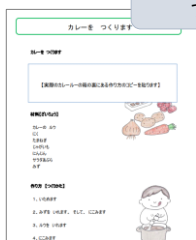
互いに知り合い、人間関係ができること

学習者の興味関心があること

生活の安心につながる

日本語サポーターが得意なこと

日本語でできることが、増えること



ワークシート

日本語をたくさん使う場作り (特徴2)

- 「正しく話す」よりも「伝える」ことを大切に
- 日本語を初めて学ぶときからでも、自分のことを話す身振り手振りや絵、スマホなども活用した、リアルなコミュニケーション
- 間違った表現をしても大丈夫
- 「話したい」「伝えたい」という気持ちを第一に考え、表現したいことを引き出します。



レベルにこだわらないグループ編成 (特徴3)

- 学習者の違いを生かし合えるように
- 「居心地の良いグループづくり」をめざす
- 自分自身のことを無理のない範囲で伝え合う
- 対等・助け合い
 - ・日本語の理解の進んでいる人が仲間を助ける
 - ・日本語力は足りなくても得意分野で力を発揮



全体活動 (各期3回程度)

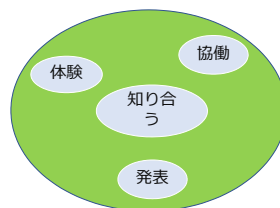
グループを超えてつながりあう



はじめまして



グループ紹介



修了式

運営体制

日本語サポーター (10人程度)

教室の趣旨に合わせた、教室活動の計画および実施(グループを担当)。YOKE日本語教室実施に伴う諸活動への協力

日本語コーディネーター (1人)

教室の企画・運営全般および教室内外の調整等

事業担当者 (1人)

日本語コーディネーターと企画運営業務を分担

特別活動 (各期1回)

教室内外の日本語母語話者等から、生活に必要な情報等を得る/交流



119通報とAED体験(市消防局)



生活情報

風呂敷に親しもう



多文化コミュニケーション



ゴミとリサイクル(市資源循環局)